

感度解析1.5倍について

平成23年10月25日

電気事業連合会

六ヶ所再処理工場の現状について

1. 建設費上昇に対する考慮

40年間の操業期間を通じた設備投資額 : 約3.3兆円

・再処理工場本体(現行施設相当) : 約2.2兆円
(ほぼ完成しており、今後の増加はない)

・今後必要となる設備投資額(内訳下表) : 約1.1兆円

竣工後の新增施設合計	約0.5兆円
回収ウラン貯蔵施設 6棟 ガラス固化体貯蔵施設 4棟 低レベル廃棄物処理施設 1棟 他	
施設のリプレイスに伴う設備投資	約0.6兆円

2. 再処理工場の稼働率に対する考慮

- ・六ヶ所再処理工場の現計画 800tU/年再処理到達時期:竣工後5年
- ・800tU/年再処理のためには、4.0tU/日(最大処理能力4.8tU/日)で年間200日稼働が必要
- ・モデルプラントである仏国の再処理工場における操業実績
 - UP2プラント : 定格操業まで約10年
 - UP3プラント : 定格操業まで約5年

感度解析 1.5倍と再処理事業について

現行計画に基づく再処理単価算出

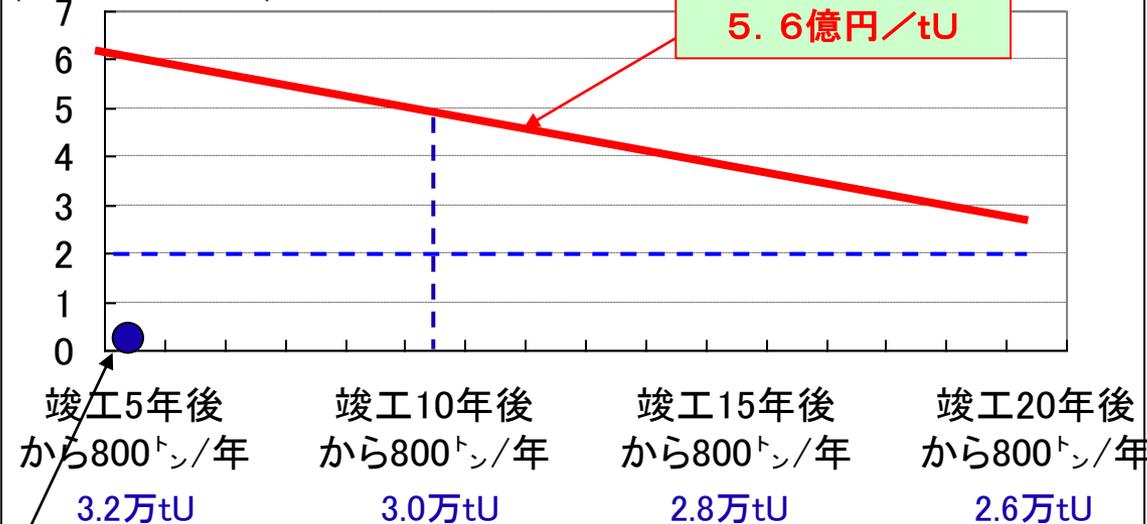
再処理等費 (H23.3届出額)	再処理	操業	9.3 兆円
		廃止措置	1.5 兆円
	廃棄物輸送		0.3 兆円
	廃棄物処分		0.6 兆円
	合計		11.7 兆円
再処理量			3.2 万t
再処理単価(0%割引単価)			3.7 億円/tU

1.5倍

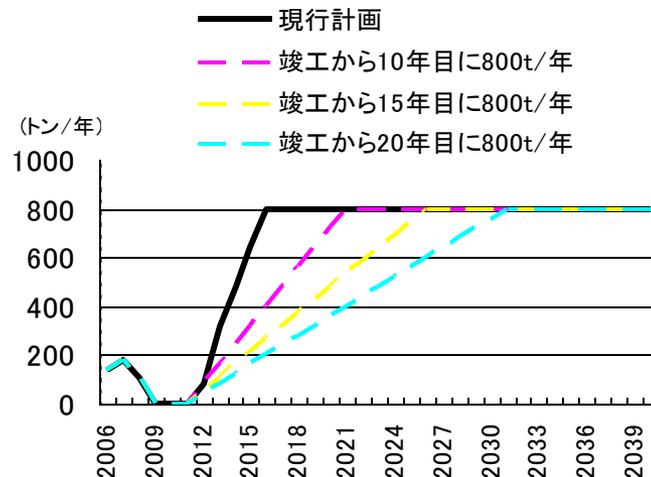
5.6億円/tU

800tU/年達成時期と許容される費用増の関係

(追加費用:兆円)



(参考)800tU/年達成時期と再処理計画



現行計画

800t達成時期(竣工からの年数)と総再処理量

(参考)ラアーク再処理工場における使用済燃料の再処理量

